



活力ある秋田 Vol. 61

『Dreams come true!
続けているといいことあるよ。』

[秋田市観光クチコミ大使]
鈴木金属工業株式会社 顧問 長崎 文康氏

私の自己紹介は、「秋田の長崎です」で始まる。秋田ブランドを守って数十年、海拔3600mから海拔マイナス1200m、北緯60度から南緯34度まで、世界各地を訪ねた。*

1983年、大曲の花火がドイツ・デュッセルドルフにやってきた。ケルン大学に留学していた私は、家族で見に行っただ。緯度が高く明るいのでようやく午後11時くらいから始まり、終わって大渋滞、自宅に戻ったのは、午前4時ころ。翌日のレセプションで秋田弁をドイツ語に通訳した(笑)。音の反響が心配だったが、大曲と一緒にだったのでほっとしたとの言葉が印象に残っている。

2009年12月、スウェーデン、ストックホルムから西へ200kmほどのところにあるエレブロ市に赴く。同年6月に傘下に入ったグループ会社を訪ねるのが目的だ。駅に降りたって、何故か、「ああ、ここは、秋田だ」と思った。その年の11月の日照時間は17.5時間。雪、氷点下8℃。暗い。でも、家々の窓にはろうそくの灯りが。スウェーデンのサンタクロース=トムテ(写真)はとてもシャイだ。帽子を目深にかぶって顔を見せない、すこぶる人間的な妖精。12月13日聖ルチア祭、ニコライ教会での合唱コンサート。北欧で聴いたサンタルチアの歌声。生涯忘れることのない時間。スウェーデン人のおもてなしも素晴らしい。アクアビットを一気に飲み、歌う。雪国の共通点。これは、秋田の冬だ。



トムテ

私の趣味は、合唱。『東北大学男声OB合唱団・コール青葉』で、2005年から毎年3月に東京オペラシティ・タケミツメモリアルで歌っている。150人の団員にも秋田人がいる。有楽町新幹線高架下でユニークな居酒屋『まつ惣』を営む本荘出身の太田敬久さん、秋の国民文化祭参加準備に一所懸命な横

手混声合唱団代表の田口征一郎さん等々。お客様にも秋田人が大勢。中学の同級生、高校陸上競技部の仲間、秋田の友人たちが聴きに来てくれるのが嬉しい。

大曲出身の小松美智子さん(千葉商工会議所議員)もその一人。教育関係の会社のほか、千葉駅前でスナック『ひまわり』を35年経営している。ここで、毎年2月に開かれるミニ秋田県人会。元千葉県副知事大槻幸一郎さん、首都圏男鹿の会会長・なまはげ伝導士小野鐵雄さん、首都圏大曲会の渋谷一夫さんもメンバーだ。私が一日料理人・マスターとして、20人前ほどのきりたんぼ鍋を作った10数年が経った。

秋田市観光クチコミ大使としてPRしていると、秋田にご一緒することもある。今年の4月には、雪の乳頭温泉郷黒湯温泉にご案内してとても喜んでもらった。川反で秋田の味覚を堪能して頂いた後は、山王のJAZZ BAR 5 SPOTに行くことに決めている。秋田の人々が集い、秋田を訪ねた人と交流するスポットだ。

秋田は、水(酒)よし、歌よし、器量よし(お人よし)?!

これからも、3Dの精神(出来ることを、出来るときに、出来るだけ)で、秋田の食とおもてなしの気持ちを実践していこうと思う。

■略歴

- | | |
|-----------------|--|
| 1950年 | 鷹巣町(現北秋田市)生まれ
秋田市立土崎中学校、秋田県立秋田高等学校、
東北大学法学部を卒業 |
| 1974年 | 新日本製鐵(現新日鐵住金)株式会社に入社
人事・労働・総務・内部統制関係業務に従事 |
| 2014年
(6月現在) | 鈴木金属工業株式会社顧問
一般社団法人ディレクトフォース会員 |

(※)スイス(Jungfrau joch)→ ドイツ(ルール炭田の切羽)
ノルウェー(オスロ)→ 南アフリカ(喜望峰)